

糸魚川市観光統計 (令和4年度版)



(令和4年11月4日/ヒスイ県石指定記念式典)

糸魚川市産業部商工観光課

令和5年9月

目次

◆ 調査概要

1	調査の期間	1
2	調査方法	1
3	調査地点	1
I 令和4年度糸魚川市における観光の現状		
1	令和4年度の観光客の入込状況（概況）	2
2	令和4年度の月別・目的別観光入込客数	2
	(1) 月別観光入込客数	
	(2) 目的別観光入込客数	
3	令和4年度の目的別観光入込客数の前年度比較	4
	(1) 温泉	
	(2) 自然景観	
	(3) 名所・旧跡	
	(4) 文化施設	
	(5) 産業観光	
	(6) 祭・イベント	
	(7) 海水浴	
	(8) スキー場	
	(9) 登山・ハイキング・キャンプ場	
	(10) その他（ゴルフ場・釣り・プール等）	
II 令和4年度宿泊客の入込状況		
1	令和4年度の宿泊客の入込状況（概況）	9
2	令和4年度の月別・方面別宿泊者数	9
	(1) 月別宿泊客数	
	(2) 方面別宿泊施設入込客数	
3	外国人宿泊客数	11
III 過去の入込客統計調査との比較		
1	観光入込客数の推移	12
2	目的別観光入込客数の推移と新潟県入込客数との比較	13
	(1) 温泉	
	(2) 海水浴	
	(3) スキー場	
3	宿泊客数の推移と新潟県宿泊客数との比較	14
4	外国人宿泊客数の推移と新潟県外国人宿泊客数の比較	15
IV 経済効果		
1	観光庁「旅行・観光消費動向調査」における経済効果	16
2	糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果	17
V 令和4年度に講じた施策		
1	新型コロナウイルス感染症経済対策	18
2	誘客宣伝活動の促進	19
3	受入態勢の充実	21

◆ 調査概要

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」(平成 21 年 12 月観光庁策定)に準拠し、観光入込客数などを推計したものである。

1 調査の期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

2 調査方法

(1) 観光入込客統計調査

四半期ごとに、市内の観光地点の管理者、祭行事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計した。

(2) 宿泊客数調査

四半期ごとに、市内の宿泊施設に対して県内から来訪者した宿泊者と県外から来訪した宿泊者を分けて宿泊客数を調査し、集計した。

(3) 海水浴客入込客数調査

海水浴場開設期間中に 10 日ごとに入込客数を調査し、集計した。

3 調査地点

観光入込客調査地点は以下の 116 か所である。

対 象	主な施設名称	対象地点数
温泉	柵口温泉、姫川温泉等	13
自然景観	高浪の池、小滝川ヒスイ峡等	8
名所・旧跡	翡翠園、相馬御風宅、親不知レンガトンネル等	7
文化施設	ジオパル、フォッサマグナミュージアム等	10
産業施設	マリンドリーム能生、ヒスイ王国館等	7
祭・イベント	おまんた祭り、奴奈川祭り等	41
海水浴	能生海水浴場、糸魚川海水浴場、親不知海水浴場等	6
スキー場	シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場	2
登山・ハイキング・キャンプ場	雨飾山登山、荒崎キャンプ場等	13
その他	糸魚川カントリークラブ、溪流釣り等	9
合 計		116

I 令和4年度糸魚川市における観光の現状

1 令和4年度の観光客の入込状況(概況)

- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の行動制限が限定的となり、国や自治体による観光需要喚起施策を実施したことにより、入込数は大きく回復した。

※感染症に係る経済対策は「V令和4年度に講じた施策」を参照

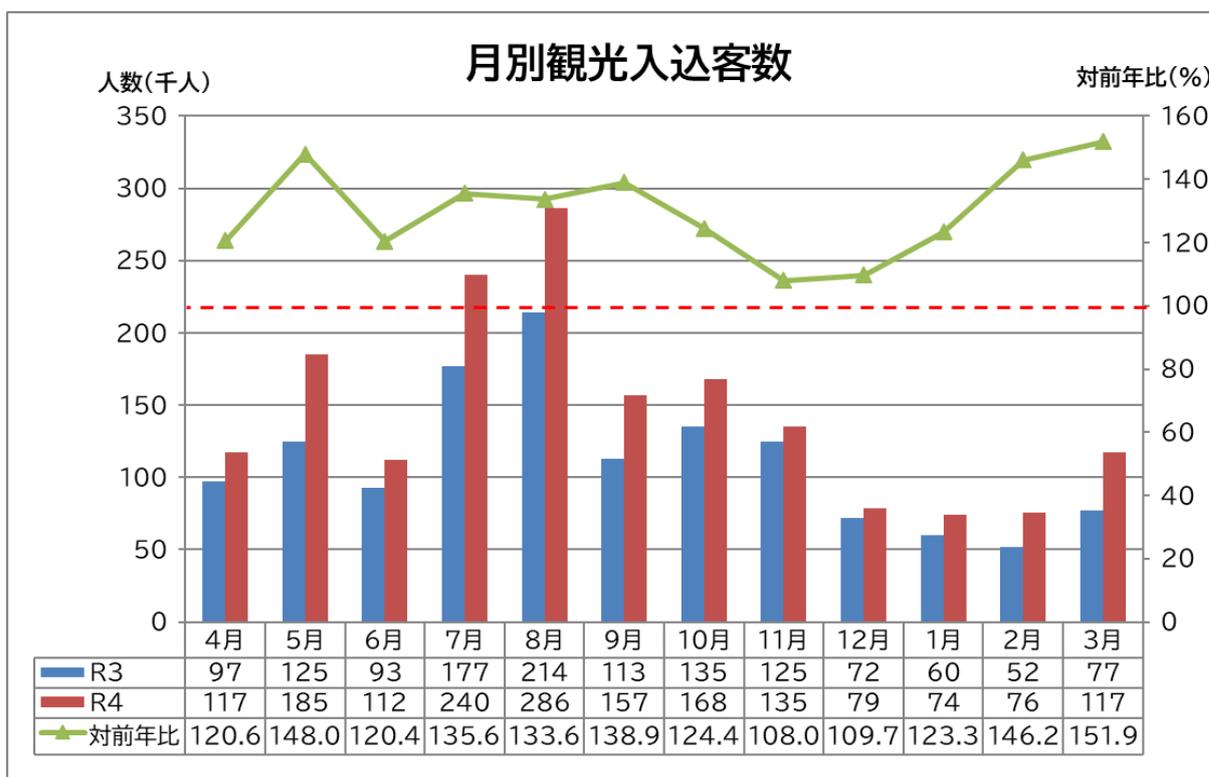
総数 1,746,660 人 (対前年比 130.3%、406,500 人増)

※ 令和3年度総数 1,340,160 人 ※ 令和元年度総数 2,177,480 人

2 令和4年度の月別・目的別観光入込客数

(1) 月別観光入込客数

- 例年同様、夏休みシーズンである7～8月が月別で上位の入込数を記録した。新型コロナウイルス感染症対策で中止していた「イベント・祭」を実施できたこと、海水浴場の入込回復が最大の要因となった。
- 2月～3月にかけて、当市で実施した「冬季観光ドライブ応援キャンペーン」の影響もあり、文化施設の入込みが大きく増加したことが月別の入込増加に影響した。



(2) 目的別観光入込客数

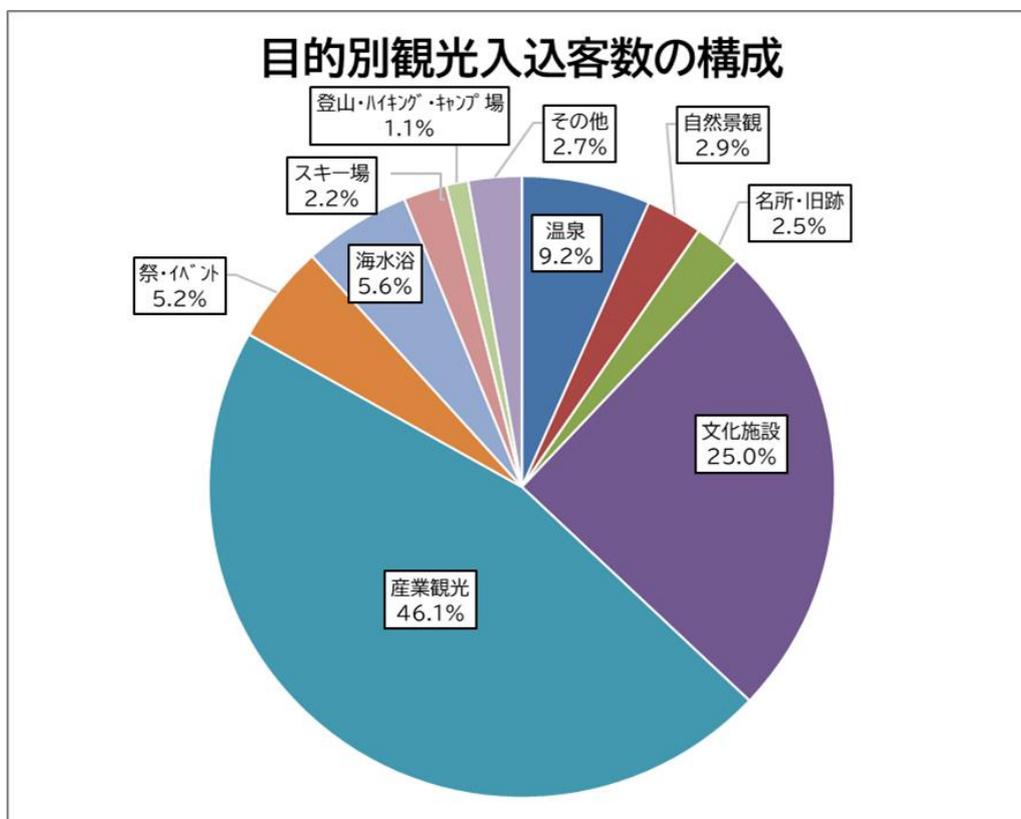
- 「産業観光」が全体の46.1%を占めており、次いで「文化施設」、「温泉」の順となった。
- 「祭・イベント」では、令和4年度からはイベントを小規模だが、開催することが増えたため、入込みが大きく増加した。

(千人)

区 分	R4	R3	増減数	対前年比	構成比	地点数
温泉	116	124	△8	93.5%	9.2%	13 地点
自然景観	51	37	14	137.8%	2.9%	8 地点
名所・旧跡	43	34	9	126.5%	2.5%	7 地点
文化施設	437	318	119	137.4%	25.0%	10 地点
産業観光	805	639	166	126.0%	46.1%	7 地点
祭・イベント	90	8	82	1125.0%	5.2%	41 地点
海水浴	97	71	26	136.6%	5.6%	6 地点
スキー場	39	37	2	105.4%	2.2%	2 地点
登山・ハイキング・キャンプ場	20	19	1	105.3%	1.1%	13 地点
その他	48	53	△5	90.6%	2.7%	9 地点
合 計	1,746	1,340	406	130.3%	100.0%	116 地点

※四捨五入により、他の表の数字や合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

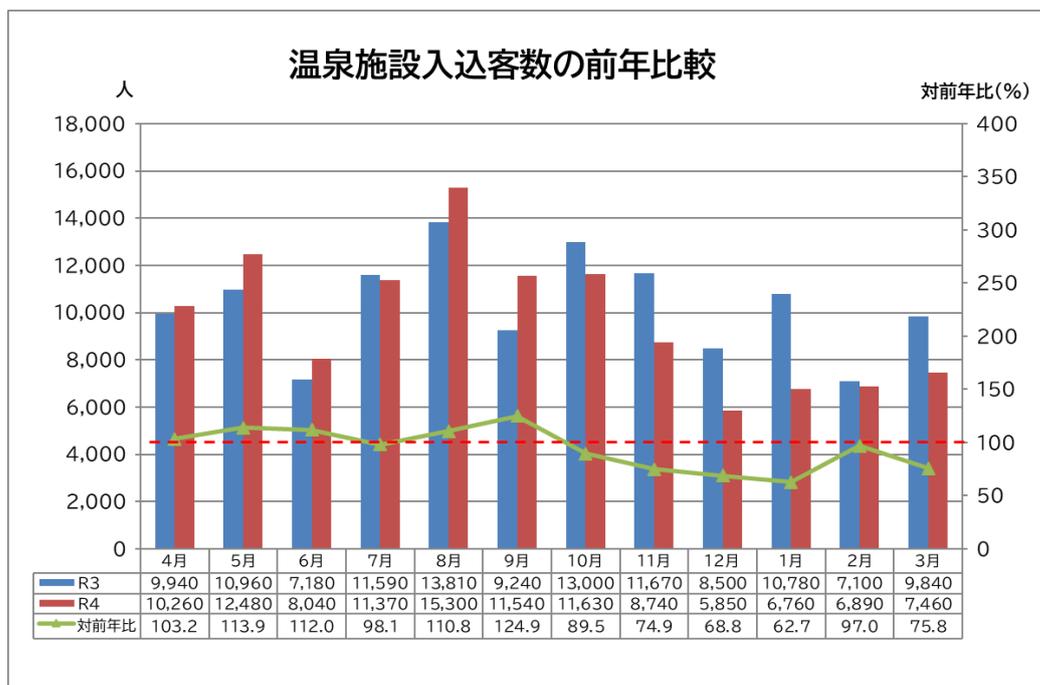
※「産業観光」とは、道の駅、観光物産センター、酒蔵等の観光施設を指す。



3 令和4年度の目的別観光入込客数の前年比較

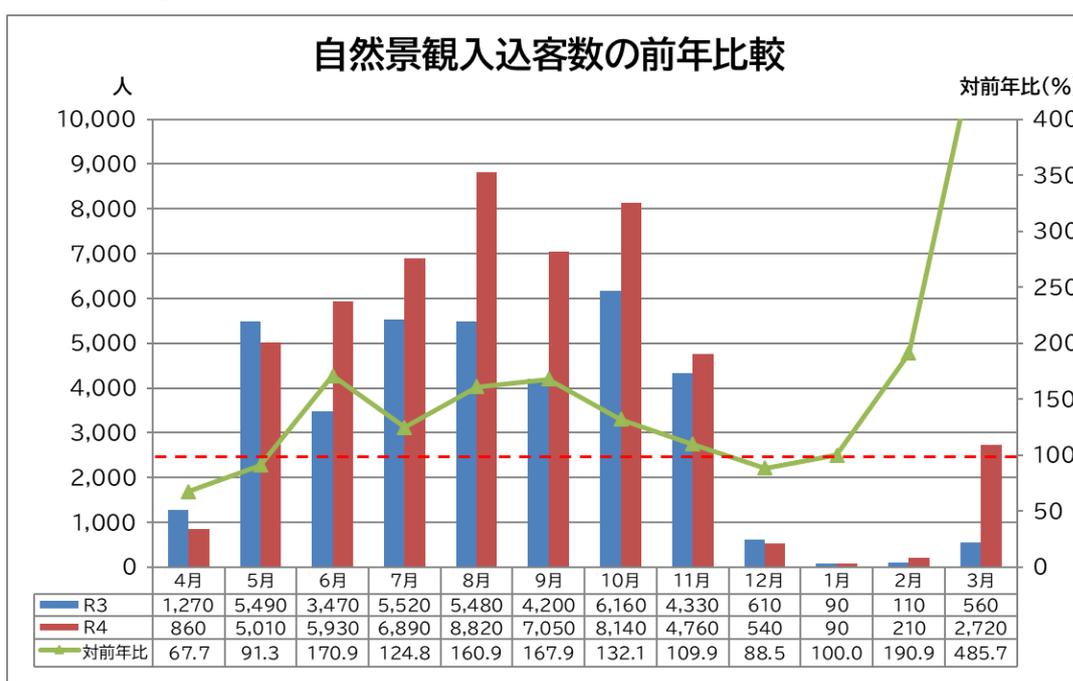
(1) 温泉

- ◇ 令和4年度 116,320人（令和3年度 123,610人） 前年比 94.1%、7,290人減
- 近隣都道府県在住者を対象にした宿泊割引「糸魚川行っトク宿泊割引キャンペーン」の実施に伴い、4月から6月までの入込数が前年と比較して増加した。
- 10月以降は宿泊割引キャンペーン等が終了したことにより、客足が遠のいたと思われる入込みが減少した。



(2) 自然景観

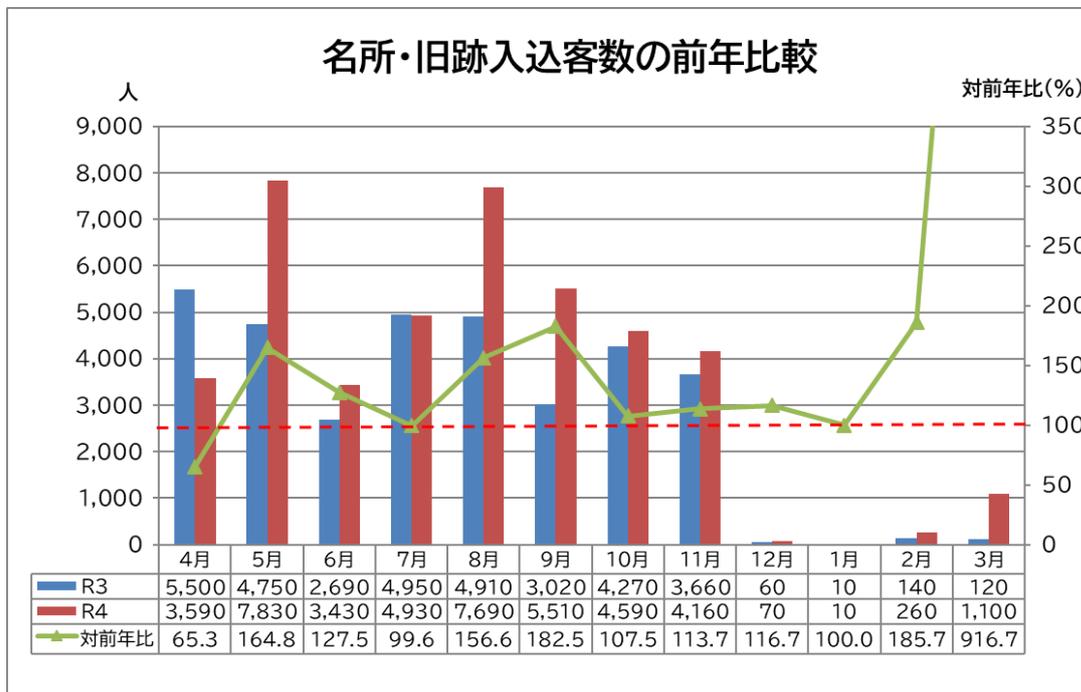
- ◇ 令和4年度 51,020人（令和3年度 37,290人） 前年比 136.8%、13,730人増
- 「たかなみまつり」等の複数のイベントを実施した高浪の池の入込みの増加が、「自然景観」全体の入込増加に大きく貢献している。



(3) 名所・旧跡

◇ 令和4年度 43,170人 (令和3年度 34,080人) 前年比 126.6%、9,090人増

○ テレビ番組「プラタモリ」の影響もあり、フォッサマグナパークの入込みが大きく増加した。

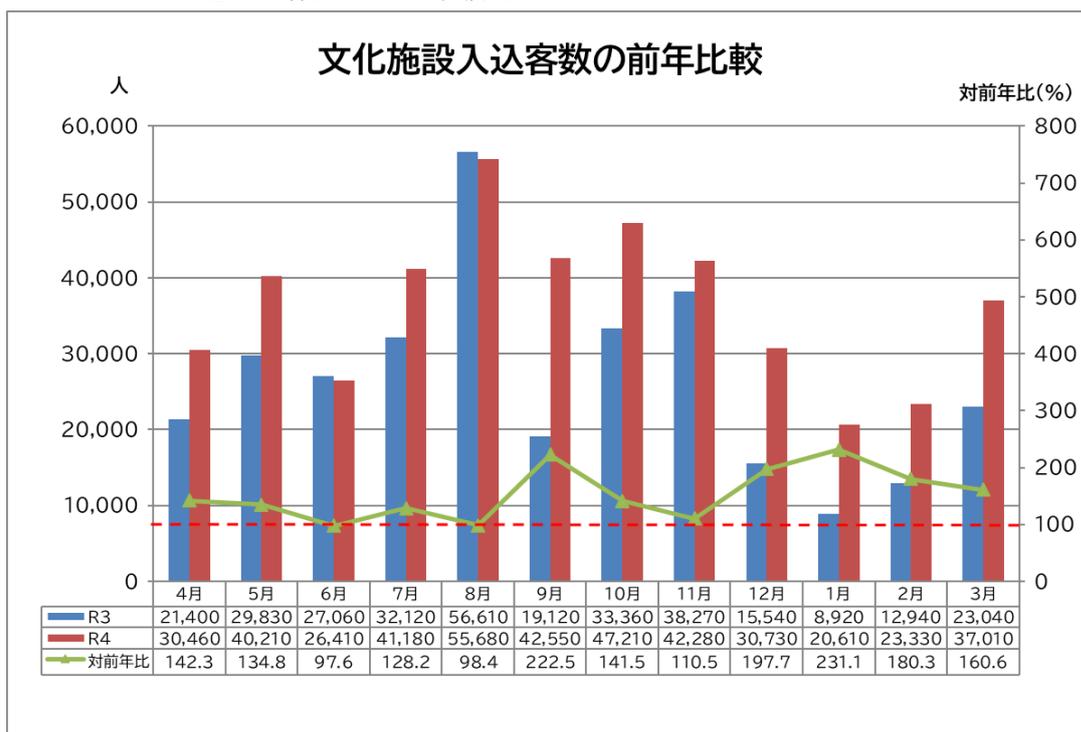


(4) 文化施設

◇ 令和4年度 437,660人 (令和3年度 318,210人) 前年比 137.5%、119,450人増

○ 対象施設が全体的に入込みが増加した。

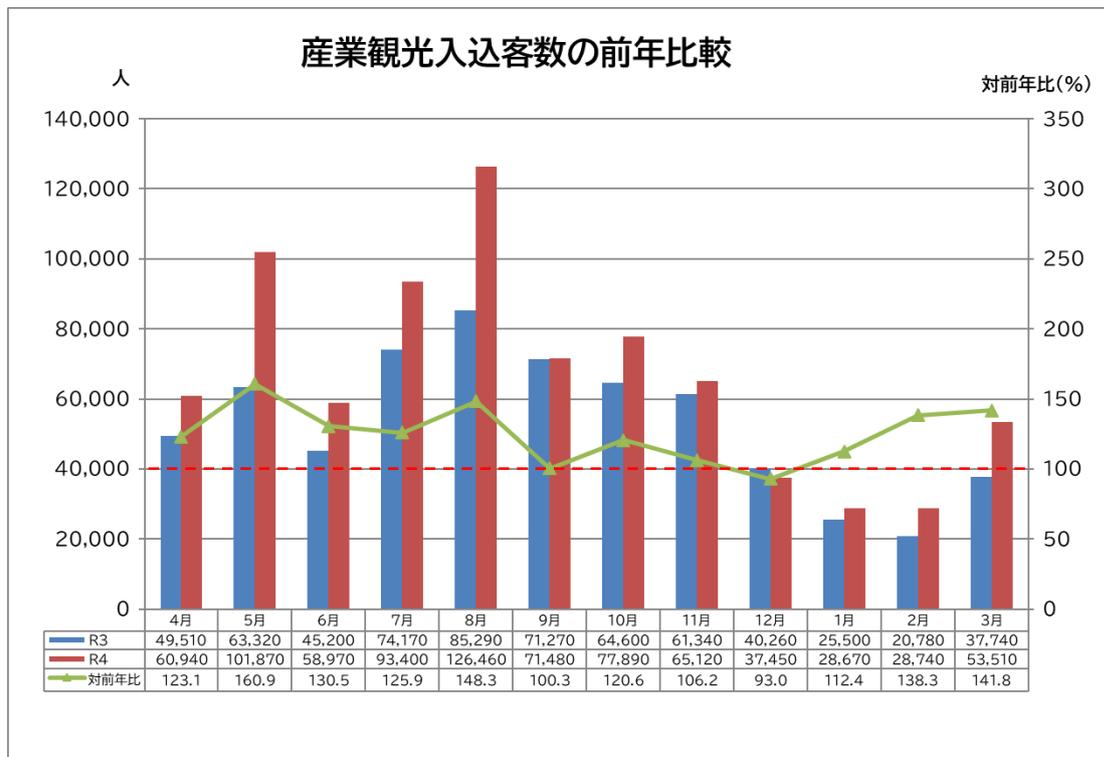
○ 11月にヒスイが県の石に指定されたことにより、中核施設であるフォッサマグナミュージアムの入込みの増加が大きく貢献している。



(5) 産業観光

◇ 令和4年度 804,500人（令和3年度 638,980人） 前年比 125.9%、165,520人増

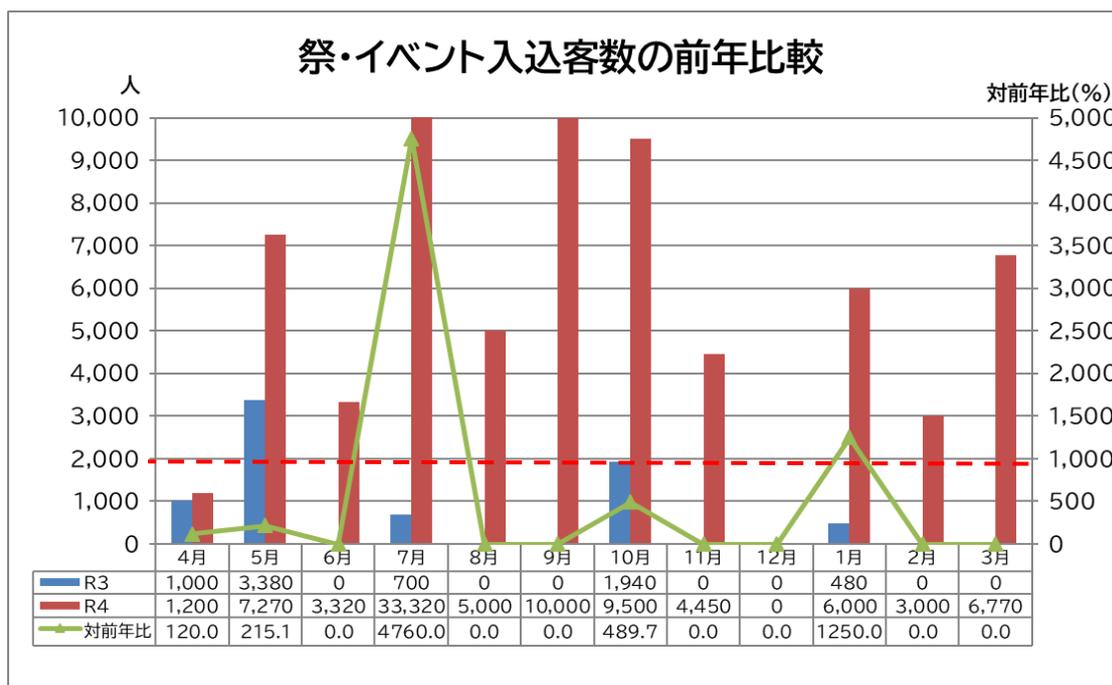
○ 道の駅を中心に5月、8月の入込数が増加したことにより、通年でも増加した。



(6) 祭・イベント

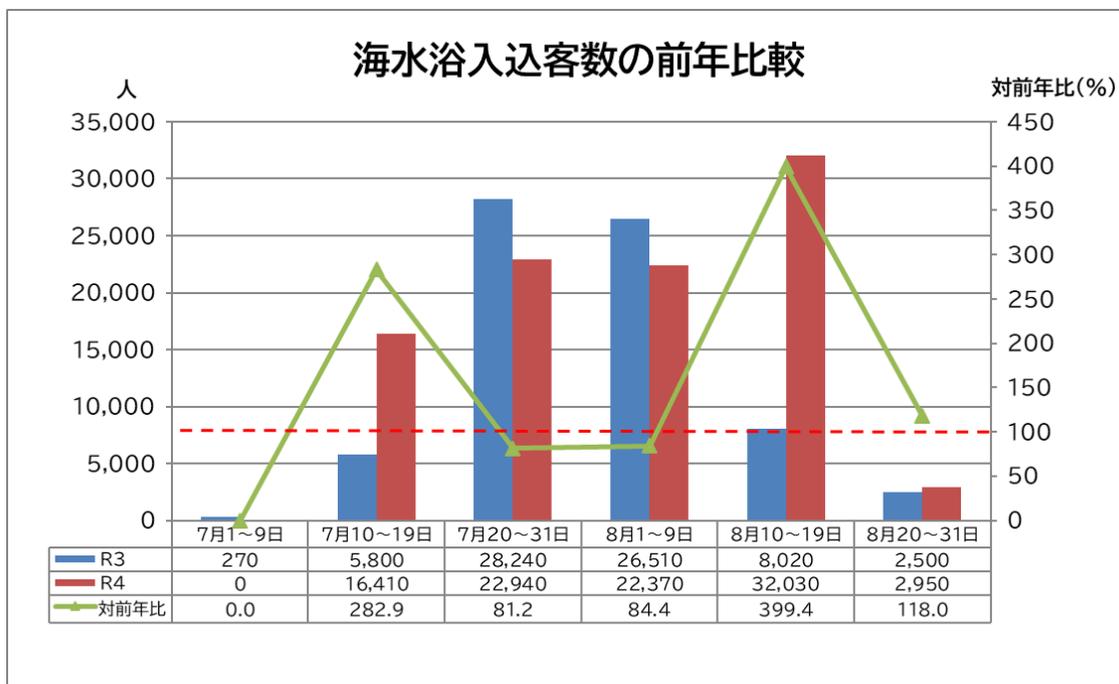
◇ 令和4年度 89,830人（令和3年度 7,500人） 前年比 1197.7%、82,330人増

○ おまんた祭りやあんこう祭りなど、規模を縮小しながら開催できたイベントが多かったこともあり、入込みは大きく回復した。



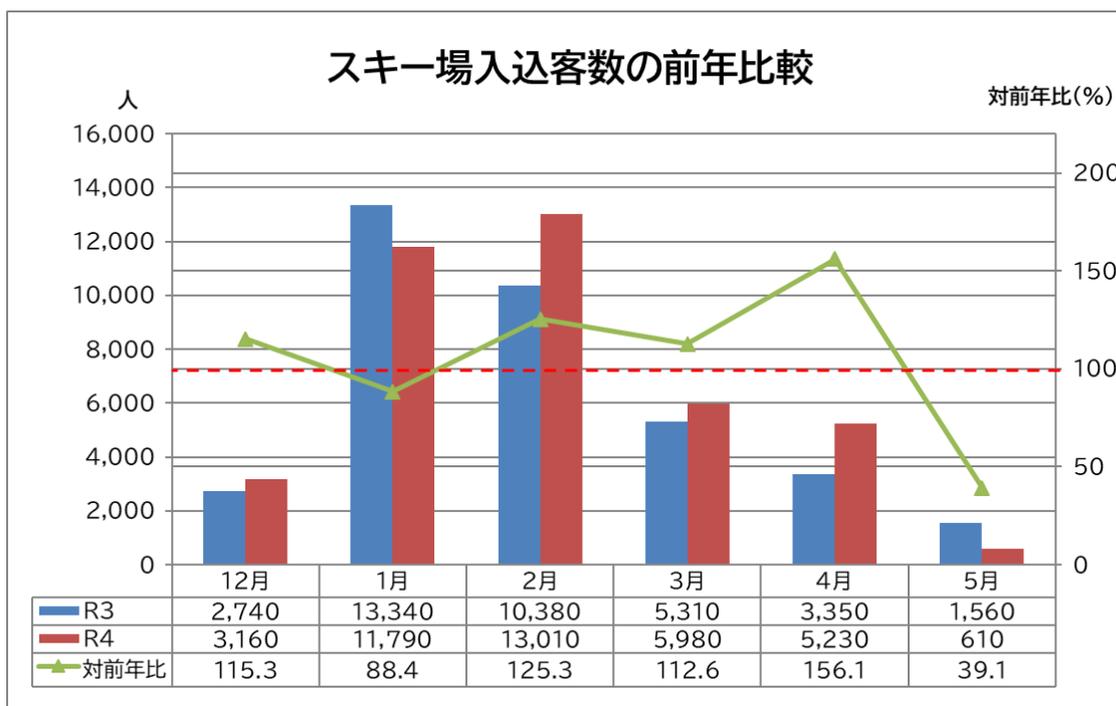
(7) 海水浴

- ◇ 令和4年度 96,700人（令和3年度 71,340人） 前年比 135.5%、25,360人増
- すべての海水浴場において、開設期間を増加したことにより、入込みが増加した。
- 百川海水浴場、びびら浜海水浴場においては、令和4年度から浜茶屋の営業を再開したことにより、入込みは回復した。



(8) スキー場

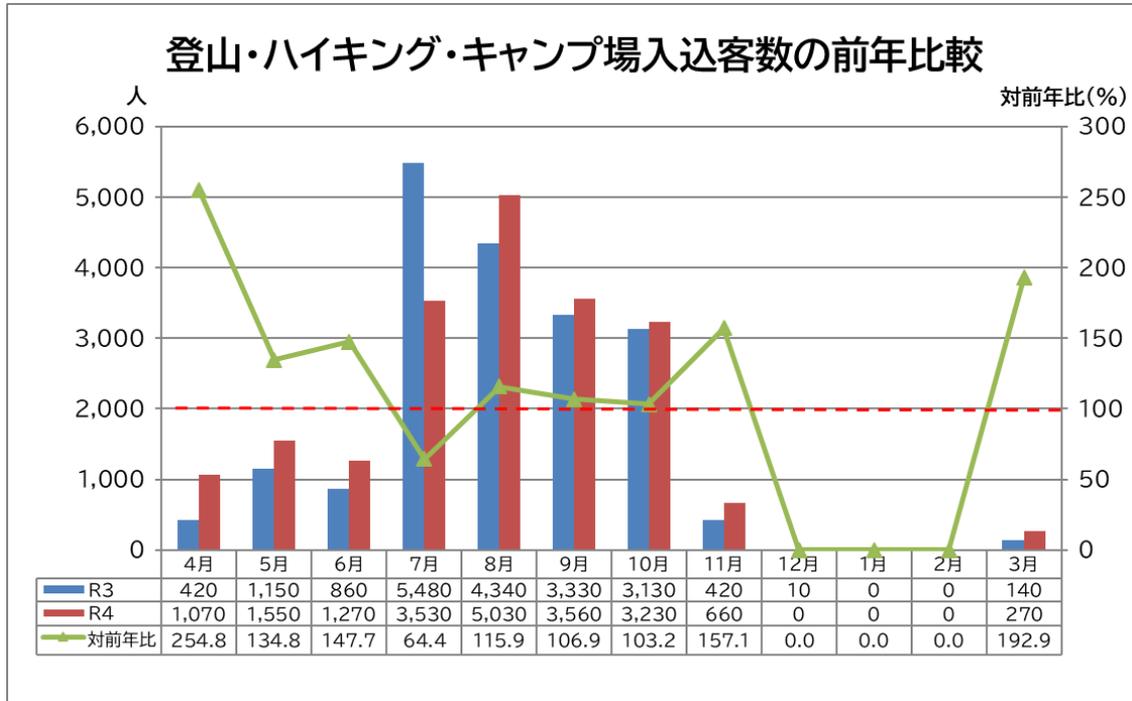
- ◇ 令和4年度 39,780人（令和3年度 36,680人） 前年比 108.4%、3,100人増
- 令和4年度は、少雪の影響でシーサイドバレースキー場の第一ゲレンデのオープンが遅れたことも影響し、通年での入込みもわずかな増加にとどまった。



(9) 登山・ハイキング・キャンプ場

◇ 令和4年度 20,170人（令和3年度 19,280人） 前年比 104.6%、890人増

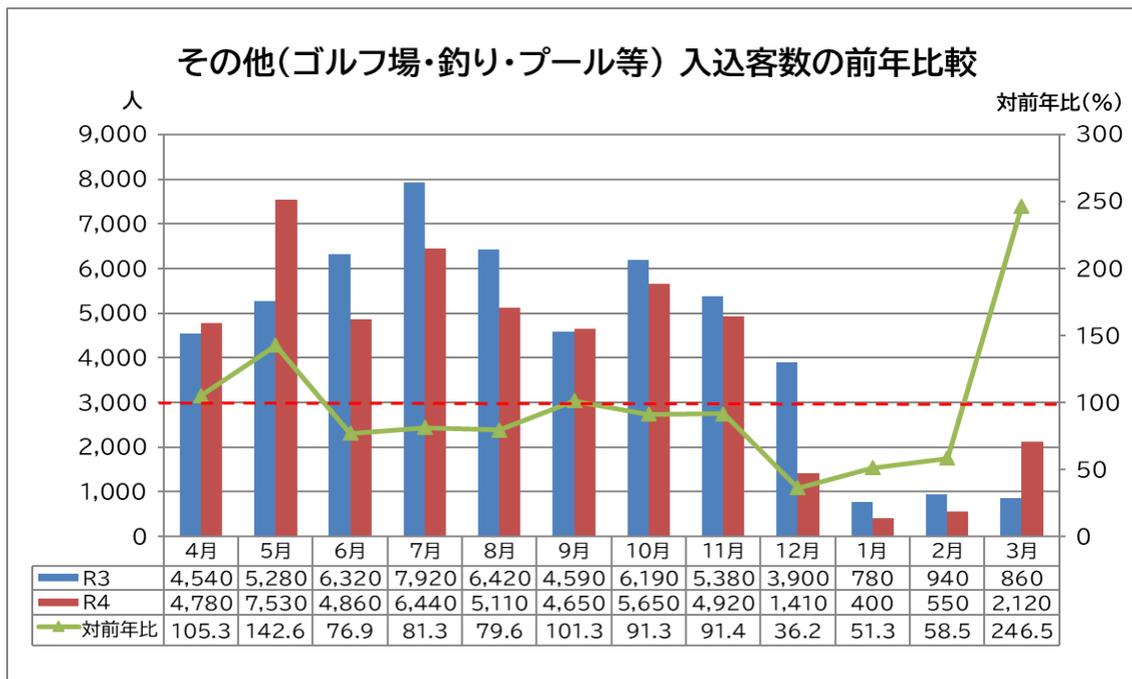
○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、密にならない環境を求め、秋シーズンを中心に増加した月が多く、通年で入込数が増加した。



(10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)

◇ 令和4年度 48,420人（令和3年度 53,120人） 前年比 91.1%、4,700人減

○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ2～3年屋外アクティビティの需要が高まっていたが、令和4年度はコロナの影響が小さくなったこともあり、需要が低下したと思われる。



Ⅱ 令和4年度宿泊客の入込状況

1 令和4年度宿泊客の入込状況(概況)

- 県外宿泊者がおおむね6割を占めている。
- 令和4年度は、前年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響は小さくなりつつあるが、ほぼ同数の数値となった。

総数(推計) 132,360人 (対前年比 104.0%、5,130人増)

※ 令和3年度総数 127,230人

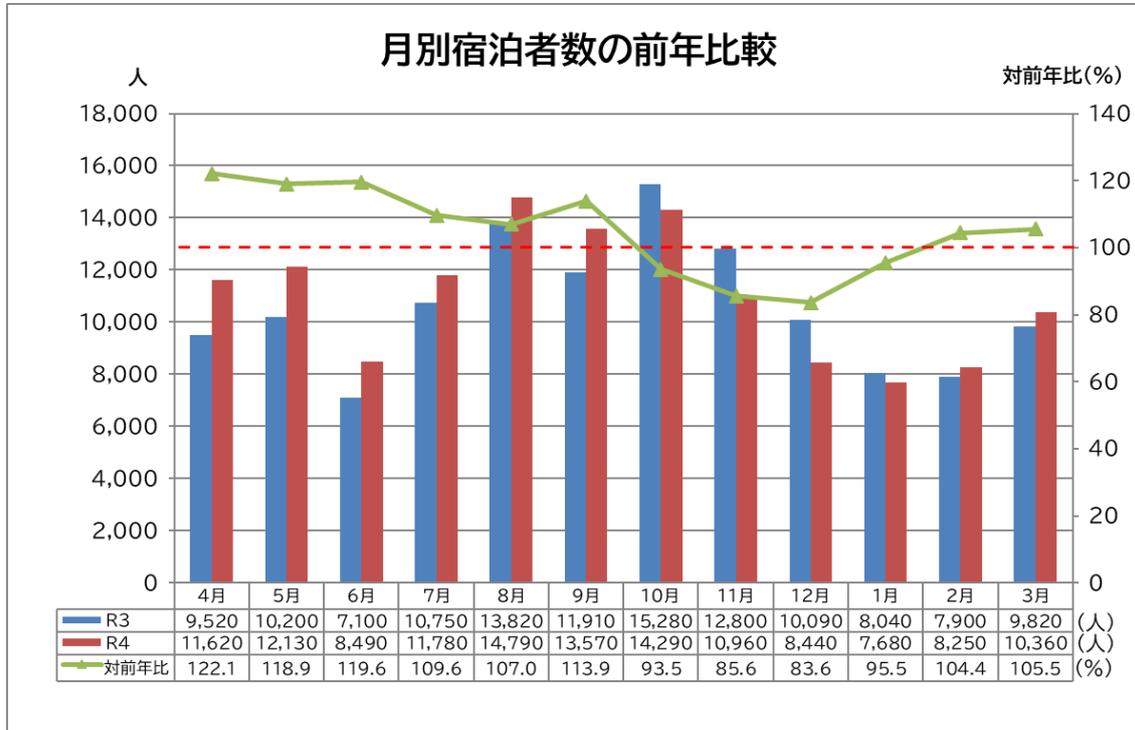
※ 令和元年度比 168,350人

2 令和4年度の月別・方面別宿泊客数

(1) 月別宿泊客数

- 例年、夏休みの8月と工場の定期修繕がある10月に宿泊者が多い。
- 令和4年3月にまん延防止等重点措置が解除されたこともあり、4～6月が前年度よりも120%前後入込みが増加した。

令和4年10月には全国旅行支援が開始されたが、当市においては10月以降は宿泊者数は減少した。

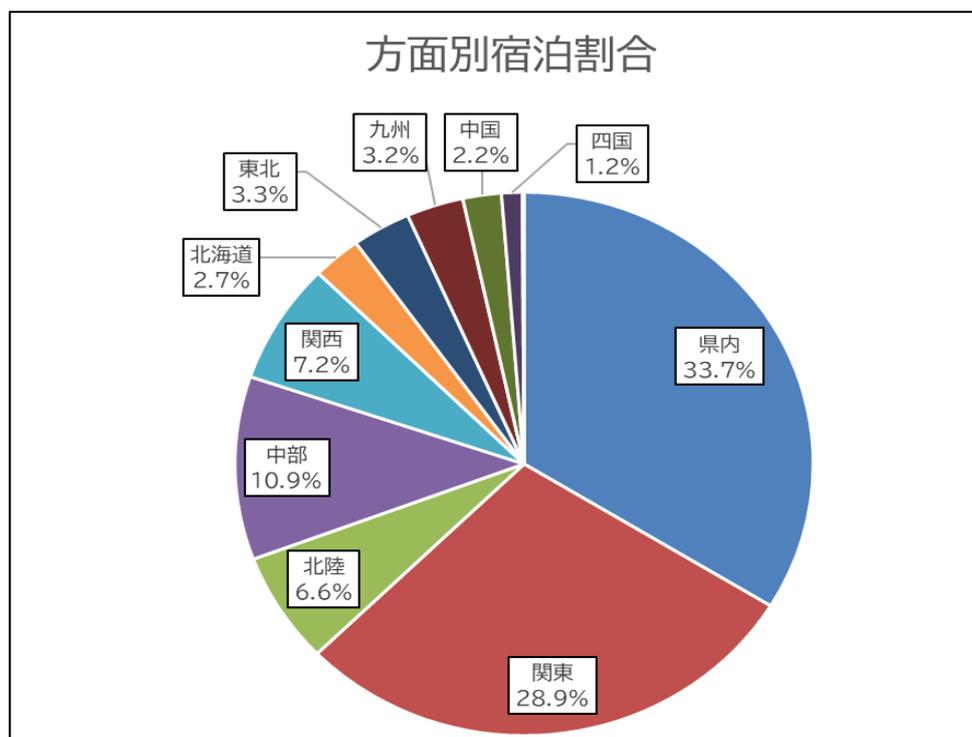


(2) 方面別宿泊施設入込客数

- 市内宿泊施設 35 施設の方面別入込客数は、県内が 33.7%、県外が 66.3%となっている。
- 県外では、関東地方が全体の全体の約 29%を占めており、前年度の構成比と比較すると、関東地方は増加し、北海道や東北、四国地方の宿泊客数が減少した。

(人)

地 域	R4	構成比	R3 構成比
県内	44,600	33.7%	36.0%
関東	38,257	28.9%	27.4%
中部	14,410	10.9%	9.0%
関西	9,497	7.2%	6.8%
北陸	8,724	6.6%	6.5%
北海道	3,607	2.7%	3.7%
東北	4,339	3.3%	3.5%
九州	4,221	3.2%	3.2%
中国	2,843	2.2%	2.2%
四国	1,541	1.2%	1.6%
沖縄	56	0.0%	0.1%
海外	57	0.0%	0.0%
合 計	132,152	100.0%	100.0%

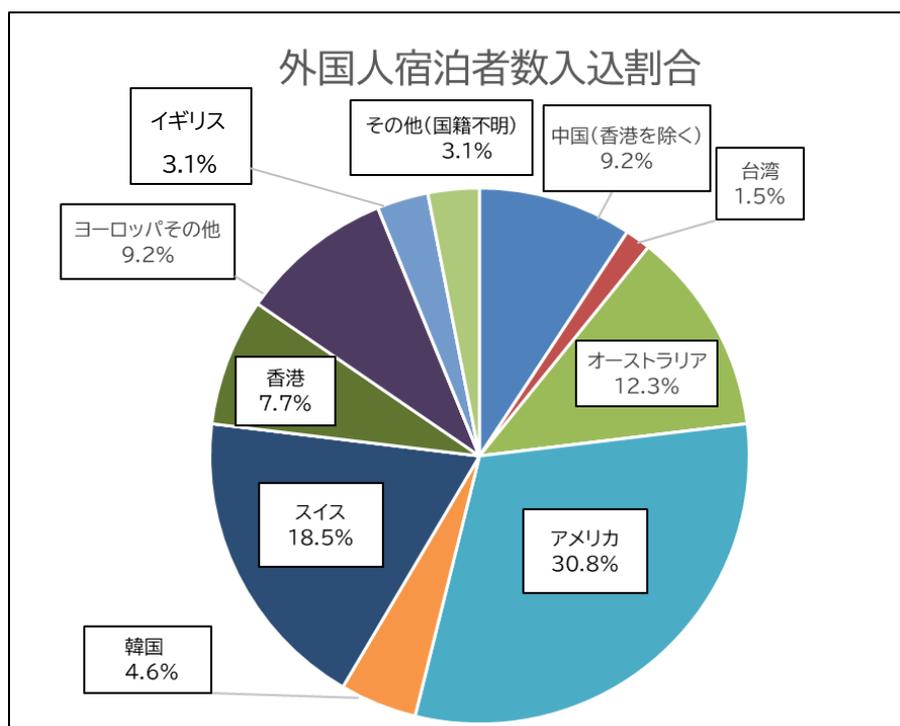


3 外国人宿泊客数

- 新型コロナウイルスの世界的な流行により、海外からの渡航が制限されたため、外国人宿泊客数は更に減少していたが、令和4年度から外国人観光客の受入れを再開したことにより、わずかに回復した。

(人)

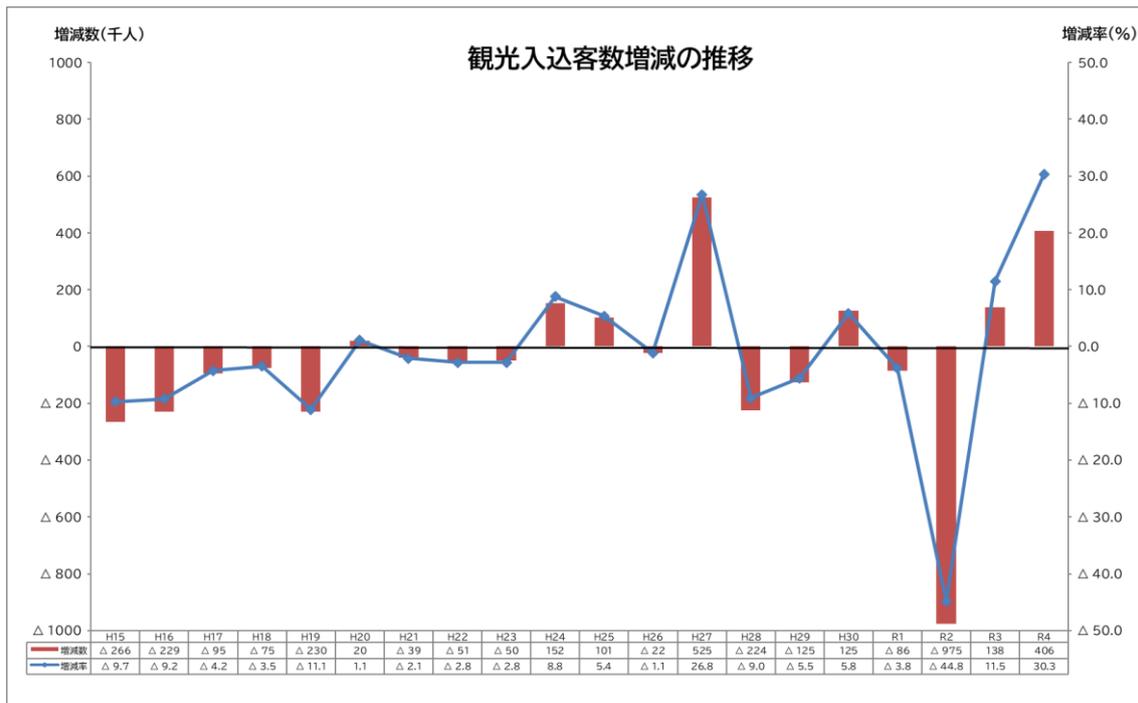
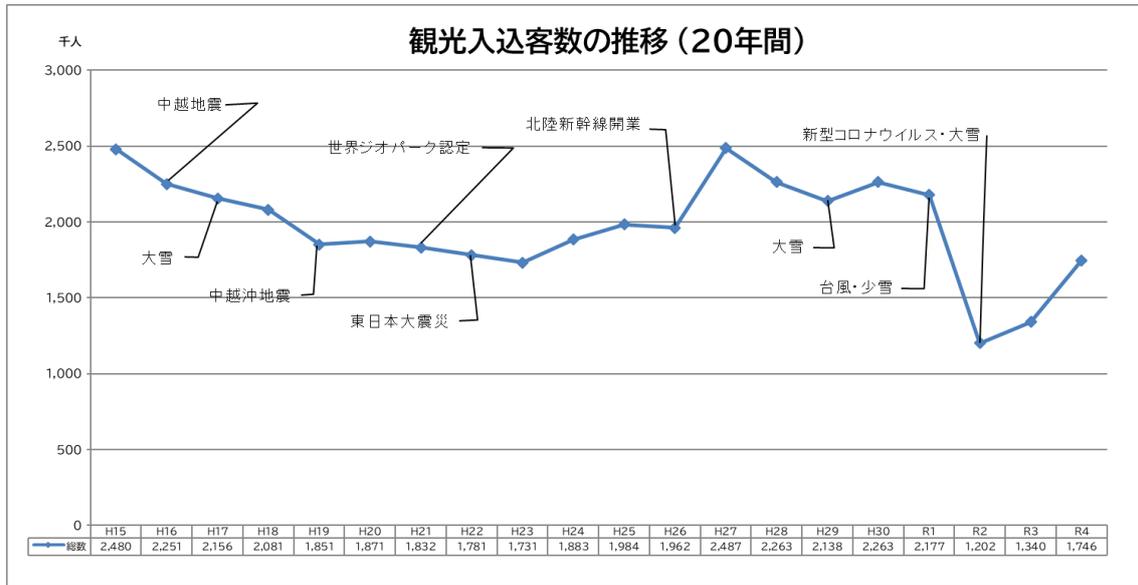
国・地域	R4	R3	対前年比	構成比
アジアその他	0	0	-	0.0%
中国(香港を除く)	6	2	300.0%	9.2%
台湾	1	2	50.0%	1.5%
オーストラリア	8	3	266.7%	12.3%
韓国	3	0	皆増	4.6%
スイス	12	0	皆増	18.5%
アメリカ	20	11	181.8%	30.8%
フランス	0	0	-	0.0%
香港	5	0	皆増	7.7%
ヨーロッパその他	6	1	600.0%	9.2%
ドイツ	0	0	-	0.0%
北米・中南米その他	0	0	-	0.0%
イギリス	2	0	皆増	3.1%
イタリア	0	0	-	0.0%
カナダ	0	0	-	0.0%
ベルギー	0	0	-	0.0%
ブラジル	0	0	-	0.0%
その他(国籍不明)	2	1	200.0%	3.1%
合計	65	20	325.0%	100.0%



Ⅲ 過去の入込客統計調査との比較

1 観光入込客数の推移

- 平成 13 年度以降減少していたが、平成 24 年度から回復基調にあった。
- 平成 27 年度は、北陸新幹線の開業効果により、ジオステーションジオパル、フォッサマグナミュージアム等の文化施設の入込数が増加したため大幅に伸びている。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 年度の入込数は大幅に減少した。
- 令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が小さくなったものの、コロナ前の入込数まで回復するに至っていない。

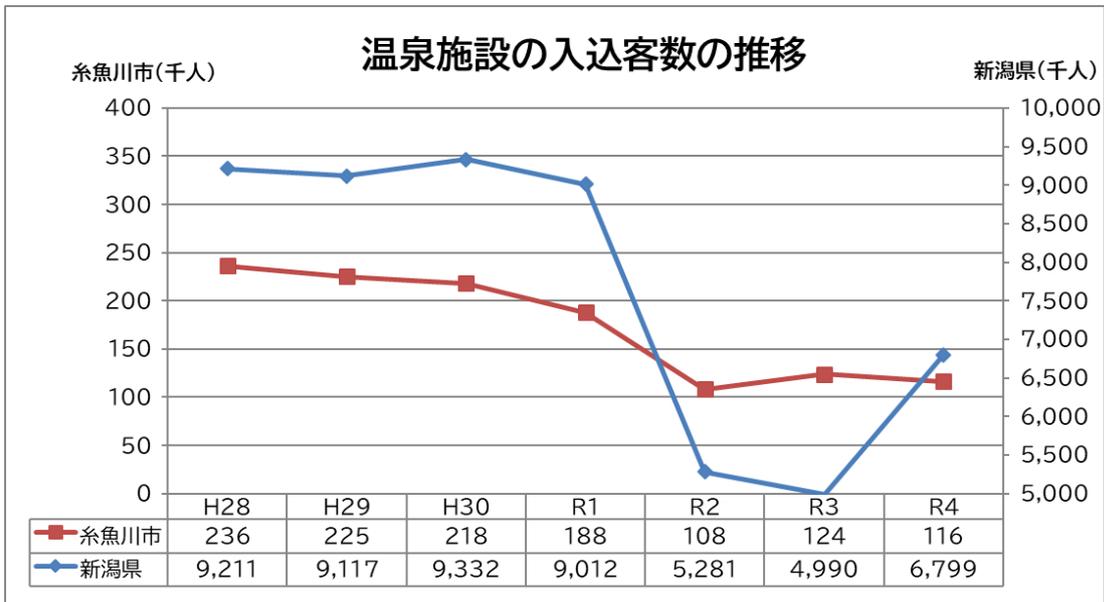


2 目的別観光入込客数の推移と新潟県入込客数との比較

目的別の観光入込客数を集計した。なお、参考のために新潟県の目的別入込客数(公表値)を図表に加えた。新潟県の入込客数の推移と同様の傾向を示すものは、新潟県全体において影響となる要因があると考えられる。

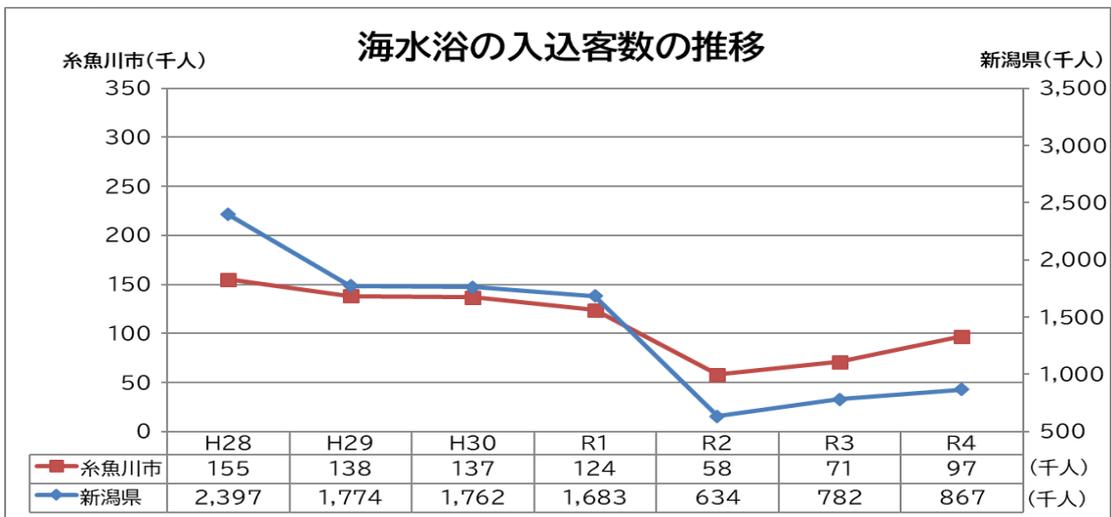
(1) 温泉

- 新潟県内の温泉施設の入込数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度以降は大幅な減少となっている。
- 市内の温泉施設の入込数は、平成27年度をピークに減少傾向となっており、新潟県内同様、新型コロナウイルス感染拡大が影響し、入込数が減少した。
- 令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、コロナ前の入込数までの回復に至っていない。



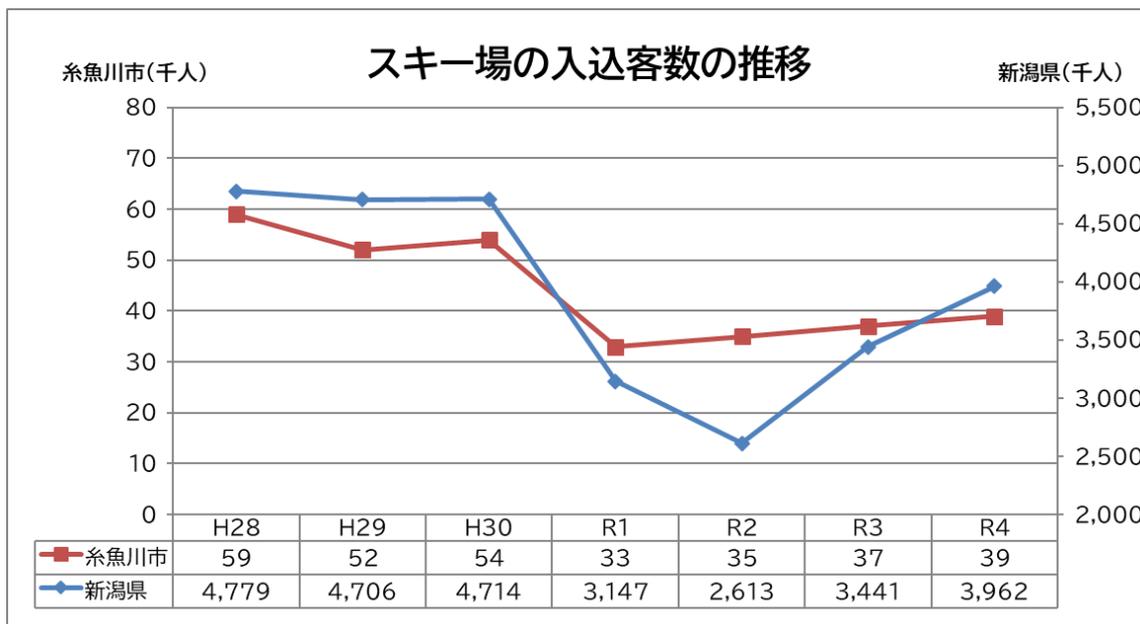
(2) 海水浴

- 糸魚川市の海水浴の入込数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 令和4年度は、天候に恵まれ、コロナ禍の影響も少なくなり、前年から若干の増加となった。



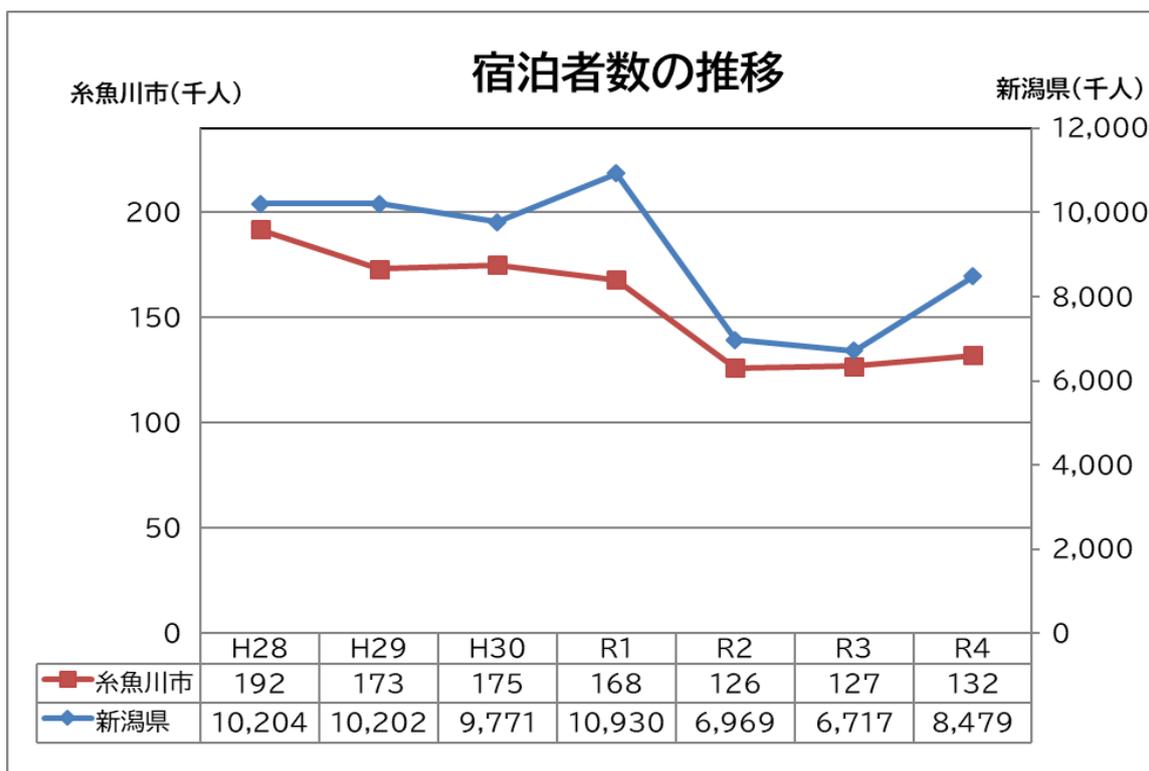
(3) スキー場

- 糸魚川市のスキー場の入込数は、新潟県とほぼ同様の傾向を示している。



3 宿泊客数の推移と新潟県宿泊客数との比較

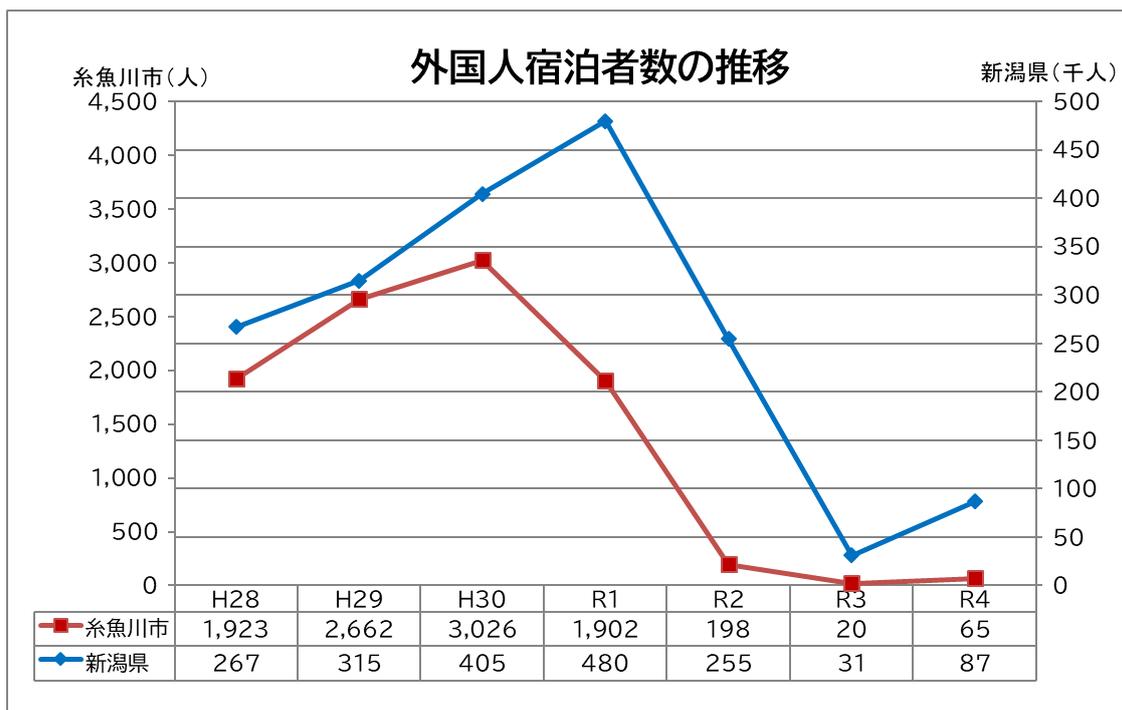
- 糸魚川市内の宿泊者数は、北陸新幹線の開業に伴い、平成 27 年度から増加傾向に転じていたが、平成 29 年度以降は開業以前の人数に戻っている。
- 令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大が影響し、コロナ前と比較して入込数が激減したが、令和 4 年度は、微増となった。



4 外国人宿泊客数の推移と新潟県外国人宿泊客数との比較

観光庁が実施・公表している、宿泊旅行統計調査の数値をもとに図表に加えた。

- 糸魚川市の外国人宿泊客数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 年々増加で推移していたが、令和元年度からは日韓情勢、また、令和2年度からは新型コロナウイルスの影響により、大幅に減少した。
- 令和4年度においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いており、外国人宿泊客の入込数は依然として厳しい状況が続いている。



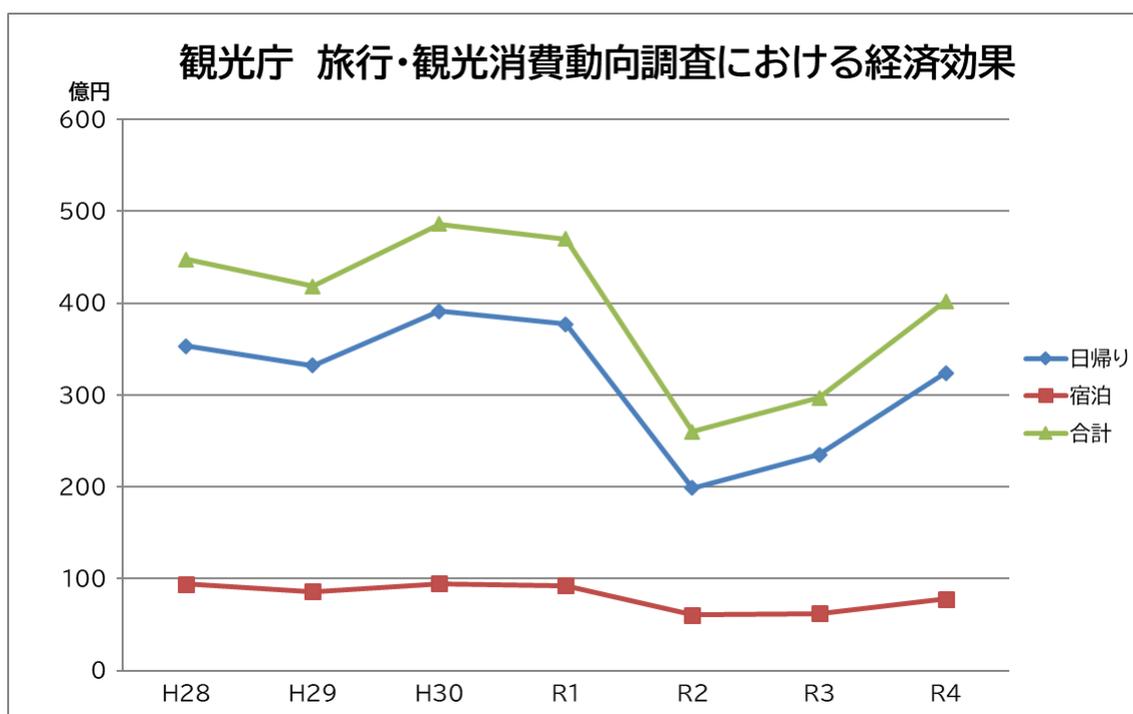
IV 経済効果

1 観光庁「旅行・観光消費動向調査」における経済効果

観光庁が発表している、旅行・観光消費動向調査に基づき経済効果を試算した。

- 北陸新幹線開業前後で、日帰り・宿泊の合計額が増加したが、その後ゆるやかに減少傾向にあった。しかし、平成30年度からは日帰り、宿泊ともに消費単価が増加したことにより、経済効果の合計額が増加した。
- 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により消費が大きく落ち込んだが、令和4年度においては経済対策などにより、コロナ前の令和元年度以来の400億円台に持ち直した。

年度	日帰り			宿泊			合計 (億円)
	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H28	15,602	2,263	353	49,234	192	95	448
H29	15,526	2,138	332	49,732	173	86	418
H30	17,285	2,263	391	54,300	175	95	486
R1	17,334	2,177	377	55,054	168	92	469
R2	16,589	1,202	199	48,365	126	61	260
R3	17,564	1,340	235	48,876	127	62	297
R4	18,540	1,740	324	59,174	132	78	402



2 糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果

市内観光施設4地点において聞き取り調査を実施し、1人当たりの平均予算額から経済効果を試算した。

年度	区分	単価 (円)	日帰り		宿泊		合計 (億円)
			入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H28	飲食	1,085	2,263	25	192	2	202
	お土産代	6,271		142		12	
	宿泊費	10,911	-	-		21	
H29	飲食	1,111	2,138	24	173	2	198
	お土産代	6,611		141		11	
	宿泊費	11,072	-	-		19	
H30	飲食	1,598	2,263	36	175	3	167
	お土産代	4,472		101		8	
	宿泊費	10,750	-	-		19	
R1	飲食	3,291	2,177	72	168	6	227
	お土産代	5,476		119		9	
	宿泊費	12,793	-	-		21	
R2	飲食	3,210	1,202	39	126	4	121
	お土産代	4,651		56		6	
	宿泊費	12,790	-	-		16	
R3	飲食	3,349	1,340	45	127	4	144
	お土産代	5,179		69		7	
	宿泊費	14,890	-	-		19	
R4	飲食	4,598	1,746	80	132	6	230
	お土産代	6,647		116		9	
	宿泊費	14,596	-	-		19	

※参考

MICE測定モデルにおける経済効果

観光庁が平成23年3月に公表したMICE (Meeting, Incentive, Convention, Event / Exhibition) 測定モデルを用いて経済効果試算した。

(億円)

指標	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1. 直接効果	200	186	195	186	89	95	115
2. 間接1次波及効果	157	147	153	147	62	66	80
3. 間接2次波及効果	90	85	88	85	39	42	50
経済波及効果(1+2+3)	447	418	436	418	190	203	245

V 令和4年度に講じた施策

令和4年度において、交流人口の拡大を目的に実施した主な施策と実績は、以下のとおりである。特に、新型コロナウイルス感染拡大により、当市の観光も大きな影響を受けたことから、宿泊施設などの観光事業者に対する経済対策を行った。

1 新型コロナウイルス感染症経済対策

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内の宿泊事業者等に対し、経済対策・消費喚起等を促進する事業を実施

(1) 誘客への支援(宿泊キャンペーン等)

①誘客宣伝支援事業補助金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の観光関連事業者の消費喚起による地域経済の回復に向け、誘客宣伝に係る広告費を支援。

補助額 補助対象経費の1/2 (上限 10万円)

利用件数 20件

②糸魚川行っく宿泊割引キャンペーン事業補助金

宿泊料金10,000円以上の場合、5,000円補助。宿泊料金10,000円未満の場合、宿泊料の1/2の額(上限3,000円、1,000円未満切捨)補助。新潟県民割と併用可能

宿泊施設数 25施設

宿泊対象期間 令和4年4月1日～令和4年7月14日

利用者数 4,516人泊

対象者 新潟県、山形県、福島県、群馬県、長野県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県在住者であってワクチン3回接種済者



③冬季観光ドライブ応援キャンペーン事業補助金

自動車ですり観光する、市外からの個人旅行者に対し「県石ヒスイ関連観光施設(フォッサマグナミュージアム、長者ヶ原考古館、玉翠園・谷村美術館、糸魚川歴史民俗博物館、翡翠ふるさと館)」を1か所以上訪問し、「あんこうフェア参加対象店(18施設)」であんこう料理を含む2,000円以上の食事をされた方へ、ガソリン割引券を補助(上限2,000円)

利用件数 272件

補助対象期間 令和5年2月18日～令和5年3月21日



④糸魚川市観光イベント等誘客活動事業補助金

元気応援分第2弾 補助件数 8件

冬季元気応援分 補助件数 5件

2 誘客宣伝活動の促進

(1) 観光素材の磨き上げ

- 海と山が近接している地形を生かし、それぞれの魅力を磨き上げ誘客を図る事業を実施

①海の魅力アップ推進事業

- ・「糸魚川の海へ行こう！」デジタルチラシ作成

実施内容…海の情報を掲載した、デジタル版チラシを作成し SNS 等で発信
Facebook 及び Instagram 広告出稿をし、長野県在住者に海の情報提供を実施

②山の魅力アップ推進事業

- ・白馬岳登山バス

運行区間…糸魚川駅～平岩駅前～蓮華温泉

実施期間…(ア) 令和4年7月16日～令和4年8月16日の毎日

(イ) 令和4年8月20日～令和4年10月10日の土・日・祝日

利用実績…(ア) 960人 (イ) 499人

- ・雨飾山・戸倉山登山タクシー

運行区間…糸魚川駅～戸倉山～雨飾山荘

実施期間…令和4年7月31日～令和4年10月16日の土・日・祝日（予約制）

利用実績…153人

- ・糸魚川登山情報サイト「糸魚川登山ガイド」での情報発信

③スキー場利用促進事業

- ・バス運行事業（無料バス）

運行期間…令和4年4月1日～令和4年5月8日

令和4年12月17日～令和5年3月31日までの

土日祝日及び学校休業日

対象者…小・中・高校生

利用者数…1,149人

- ・レンタル利用料補助金

補助期間…令和4年4月1日～令和4年5月8日、

令和4年12月17日～令和5年3月31日まで

対象者…50歳以上、中学生以下

利用件数…2,453件

- ・スノースクール補助金

補助期間…令和4年4月1日～令和4年5月8日、

令和4年12月17日～令和5年3月31日まで

対象者…中学生以下

利用件数…583件

④大糸線活用旅行商品造成事業

大糸線を活用した旅行商品の造成を行う旅行者に対し造成費用を助成

対象ツアー 市内での昼食、観光を含めた日帰りの募集企画旅行行程中に大糸線
(糸魚川駅～南小谷駅)に乗車

運行期間 令和4年10月24日～令和4年12月18日 計18本

(2) 観光情報の発信

- ホームページや SNS を活用し、糸魚川の魅力を発信
- 糸魚川市観光協会と連携を強化し、観光情報のワンストップ窓口化を推進

①ホームページ（糸魚川観光ガイド）による情報発信

- ・新着情報、イベントカレンダー等の更新
- ・観光施設、観光素材、糸魚川体験ガイド（旅する糸魚川）の情報発信

②SNS（糸魚川市観光協会）での情報発信

- ・フェイスブック…フォロワー数 2,440 人
- ・インスタグラム…フォロワー数 1,851 人
- ・ツイッター …フォロワー数 805 人

③観光案内所の開設（5か所）

- ・案内所問合せ件数……25,383 件（対前年比 160% 15,768 件）

④観光パンフレット請求件数……120 件

(3) 効果的な宣伝活動の強化

- 様々なメディアを利用した広告出稿や市外観光キャンペーンの実施

項目	内容	回数
広告出稿	テレビ	4回
	新聞	7回
	雑誌	12回
	インターネット	3回
観光キャンペーン	市外での観光PR	12回

(4) イベント等の実施と支援

- 糸魚川の認知度を向上させるため、市内イベント等に対する支援を実施

○ 実行委員会など実施するイベントへの助成

- ・補助件数…15 団体

(5) 観光関連産業の活性化と地域振興

- 民間団体と連携し、食を通じた情報発信を実施

① うまいもん会への助成

- ・ 糸魚川市の食等を通じて糸魚川市の情報発信と特産品開発を図った。
(「ブラック焼きそば」、「ジオ丼」、「メギス料理」)

② 五醸の会への助成

- ・ 市内5蔵の地酒を通じて、糸魚川市の情報発信を図った。

(6) 神話の物語を通じた観光連携

- 島根県出雲市及び長野県諏訪市と、奴奈川姫の伝説をご縁とした、3市連携「神話の縁結び かみがたりネットワーク」で第53回高島城祭式典に参加した。

3 受入態勢の充実

(1) 観光地域づくりに向けた観光協会との連携強化

- 糸魚川版DMOの取組を進め、受入態勢を整えるための指導を行った。

① 糸魚川版DMO運営部会

- ・ 開催日…令和5年3月23日
- ・ 協議題…糸魚川の観光地域づくりの経過と今後の取組について

② 観光協会への民間企業社員派遣

- ・ 目的…糸魚川市観光協会における、旅行商品の造成や販売のための営業活動の充実と、観光協会職員のスキルアップ
- ・ 人数…1人(株式会社日本旅行から派遣)

(2) 体験型観光の推進

- 地域資源を活かした旅行商品の開発を行い、旅行エージェントなどとの連携を進め誘客を図った。(体験型観光、一般観光、モニターツアー等の調整)
- ・ 99ツアー、3,088人

(3) 広域観光連携の推進

- 広域連携のメリットを活かし、鉄道やサイクルツーリズムの魅力を伝えることにより、北アルプス日本海エリアへの誘客を図った。
- 糸魚川市、上越市、妙高市3市が持つアウトドアツーリズムの魅力を発信して誘客するため、3市連携のイベントを実施した。

①北アルプス日本海広域観光連携会議

(ア)連携市町村

長野県大町市・白馬村・小谷村、富山県朝日町、新潟県上越市・糸魚川市
計6市町村

(i) 観光誘客促進事業

北アルプス日本海エリアを対象にデジタルスタンプラリーを実施した。アフターコロナを見据えた台湾への情報発信を行うため、台湾に強い訪日観光webメディア「tsunagu japan」にて、繁体字・簡体字・英語の3言語で、3つのオリジナル記事を掲載した。各種SNS (facebook、Instagram、Google) 等でも情報発信を実施した。

(ii) 鉄道魅力発信事業

各路線の鉄道の見どころや魅力をまとめた「鉄道パンフレット(鉄職オススメスポット)」を、鉄道事業者の協力のもと作成した。

(iii) サイクルツーリズム推進事業

サイクリストの利便性向上のため、輪行バッグの貸し出し事業を実施、また、サイクルトレインの運行を鉄道事業者と連携して実施した。

②上越地域 SEA TO SUMMIT 実行委員会

- ・事業…海、里、山をカヤック、バイク、ハイクの3種でたどりながら自然の循環を体感し、自然について考える環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を上越・妙高と共同で初開催。上越地域 SEA TO SUMMIT 実行委員会を3市で運営し、全国から参加者を募集した。マリンアクティビティの機運醸成と当市の大自然の魅力をPRできた。

総参加者 73組 116人 (うち県外参加者 66人)

(4) 観光施設の整備運営

- 観光施設の適切な整備と管理運営を行い、施設の魅力や観光客の誘客を図った。

施設名	入込客数(人)
糸魚川ジオステーションジオパル	262,910
シーサイドバレースキー場	16,280
シャルマン火打スキー場	23,490
翡翠園、玉翠園・谷村美術館	13,830
高浪の池(白馬山麓国民休養地)	10,570

(5)新幹線に対応した観光交通の確保

- 北陸新幹線など鉄道を利用し糸魚川市に來訪する観光客に向けた誘客を行った。

①定期観光バス

- ・実施期間…年2コース 計8回
- ・利用実績…64人

②募集旅行におけるバス借上料の助成

- ・利用実績…旅行商品数39本、1,243人



(6)インバウンド観光の推進

- 香港メディア及びインフルエンサー招聘事業に同行し、市内観光地のPRに努めた。
- 英語圏・中国語圏向けのSNS広告掲載を行った。
- 令和2年度からのコロナ禍により中止していた、白馬バレーの外国人等をターゲットにしたお食事バスを再開し、市内飲食店への誘客を図った。
- 市内観光スポットオリジナル記念スタンプ制作、インバウンド向けのグルメ特集ページ等を制作した。

① インバウンド推進委員会との連携

- ・外国人向けホームページ「DISCOVER ITOIGAWA」英語版・中国語版の管理、運営

②国際交流員（CIR）配置

- ・目的…香港・台湾など中国語（繁体字）圏の国々を対象としたインバウンド事業の推進
- ・人数…1人（国籍：中国）



ジオまる



ぬーな

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク マスコットキャラクター

糸魚川市の観光の状況について（令和4年度版）
（令和5年9月発行）

編集・発行 糸魚川市産業部商工観光課
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1丁目2番5号
TEL 025-552-1511 FAX 025-552-7372